

昆虫文献 六本脚 出版物・新着図書・雑誌情報

日頃より「昆虫文献 六本脚」をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

2025年7月号

総額表示義務化に伴い、2021 年 4 月 1 日から、すべて税込表記（一部本体価格併記）となりますことご了承下さい。

<新着図書>

季節の生きもの事典 3

身近な虫の生き方観察 12 か月



須黒達巳(著)・安田守(写真), 2025.
B5, 68pp. 価格: 2,000 円(税込 2,200 円)
季節ごとに、公園の緑地や学校のビオトープなど、身近な場所で観察できる虫を取り上げ、興味深い形や色模様、面白い生態を貴重な生態写真を使って紹介しています。セミやトンボ、カマキリのほか、美しいハエやサソリのようなカニムシの仲間、ドアのある家に住むタテグモなども登場。外来種や小学校での昆虫調査の例も収録しています。

知らなかった蛾の魅力



あつぎ郷土博物館編, 2023.
110mm x 181mm, 40pp., 価格: 500 円(税込 550 円)
あつぎ郷土博物館で開催された「知らなかった蛾の魅力」展の小冊子。特に神奈川の蛾そして厚木の蛾として、それぞれの蛾類相や分布上特長のある種を紹介しています。このほか、フユシク類の不思議や擬態する蛾の世界、そして、書籍後半は厚木でみられる蛾類の図鑑となっています。

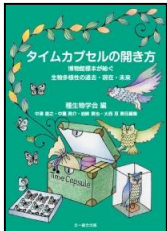
はじめて学ぶ哺乳類



山本俊昭, 2024.
A5, 192pp., 並製本. 価格: 2,200 円(税込 2,420 円)
知ってて知らない哺乳類を学ぶための入門書。生物としての特徴やからだのしくみ、行動やくらしの調べ方、人間社会との関係まで、具体的な例をあげて紹介。哺乳類を体系的に学ぶはじめての一步をサポートします。生き物を学ぶすべてのひとにおくる、獣医学部教授の基礎講座。獣医学部や農学部の学生はもとより、講師や飼育員など、哺乳類にかかわる仕事を目指す全ての人におすすめです。

タイムカプセルの開き方

博物館標本が紐く生物多様性の過去・現在・未来



種生物学会 編 / 中濱直之・中臺亮介・岩崎貴也・大西 巨 責任編集, 2024.
A5, 248pp., 並製本. 価格: 3,000 円(税込 3,300 円)
DNA 解析技術の発展により、博物館の標本が雄弁に語りはじめました。採集の時期や場所の情報、他の標本から得られたデータを組み合わせることで、生物多様性の歴史が明らかになってきます。本書では、過去を知り未来に活かすためのノウ

ハウを、わかりやすく解説しています。DNA 解析の進歩によって、標本からも DNA を解析できるようになり、絶滅した生物の詳細も見えてきました。最先端で活躍する若手研究者が、標本から DNA を採取するための実践的なノウハウを紹介します。将来の研究者に貴重な標本を引き継ぐために、現在の利用者や管理者は、どのようなことをすべきなのでしょう。より多くの情報を未来に伝えるための、標本の作り方についても提案しています。2022 年のノーベル生理学・医学賞で注目された「標本 DNA 研究」の魅力を、たっぷりと紹介しています。

世界のカタカワ 第 2 版(月刊むし・昆虫図説シリーズ 1)

石塚勝己, 2011 年 9 月(初版), 2025 年 7 月(第二版)発行
A4, 上製本, 108pp(47 カラープレート).
価格: 8,000 円(税込 8,800 円)(送料サービス)
後翅の美しい世界のカタカワ属(Catocala 属)約 280 種のうち、約 90%にあたる 240 種を図示・解説。日本産カタカワ 31 種は分布図、珍品度、食樹などの解説付き(都道府県別種類数の一覧表も掲載)。「シタバ屋」を自称する著者の古今東西のカタカワに関する囲み記事が楽しい。この図説があれば、世界のカタカワが一冊で概観できます。

小学館の図鑑 NEO [新版] カブトムシ・クワガタムシ (DVD つき)



執筆・企画構成/小池啓一, 2025.
A4 判変型(265x218mm), 247pp., DVD70 分, フルカラー. 価格: 2,600 円(税込 2,860 円)
この図鑑では、日本と世界のクワガタムシとカブトムシを中心に、約 1200 種のコガネムシ上科の昆虫を実物大の標本で紹介しています。コガネムシ上科は、世界に約 35000

種、日本では約 450 種類が知られる、多様なグループです。大あごが発達したクワガタムシ、動物のふんを食べるふん虫、葉を食べるコガネムシのなかま、角が特ちょう的なカブトムシ、主に昼間活動し美しい色の種が多いハナムグリなど、この図鑑で、多種多様なコガネムシ上科の世界を探究してみましょう。DVD では約 70 分の映像で、日本と世界のカブトムシ・クワガタムシ、コガネムシに加え、飼い方も紹介しています。また、ページにある二次元コードを読み取ると、スマートフォンやタブレットで貴重な映像を見ることができます。この図鑑で、奥深いコガネムシ上科の世界を探究して、カブト・クワガタ博士を目指しましょう。

昆虫博士・牧田習の虫とり完全攻略本

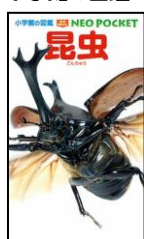


牧田習, 2025.

新書判, 127pp., 価格: 1,100 円 (税込 1,210 円)
春から秋にかけて採集できる代表的な昆虫 (チョウ、テントウムシ、カブトムシ、クワガタ、カマキリ、セミ、ホタル、水生昆虫、カメムシ、コガネムシ、カミキリムシ、タマムシ、バッタ、ナナフシ、トンボ、オサムシなど) の、見つけ方、探し方、捕り方のテクニックをわかりやすく解説。初心者でにもや

さしい実用的な情報から、ちょっとマニアックな採集テクニックまで網羅した、最新の昆虫採集マニュアルです。しかも、虫とりに行く時に携帯するのにちょうどいいポケットサイズです。子どもたちの自由研究にも役立つ楽しいガイドブック。保護者の皆さんにも子どもの頃を思い出しながら、読んでほしい虫とりの全部入りガイドです。

小学館の図鑑 NEO POCKET 昆虫



指導・執筆/小池啓一 指導・執筆/小野展嗣, 2010.

新書判, 207pp., 価格: 950 円 (税込 1,045 円)
ポケット図鑑としては最大級! 約 850 種の昆虫を掲載した決定版。成虫だけでなく、卵や幼虫、さなぎなどの情報も満載し、充実した見分けポイントや観察コラムは野外観察に最適です。

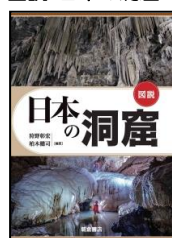
小学館の図鑑 NEO POCKET カブトムシ・クワガタムシ



執筆・企画構成/小池啓一, 2015.

新書判, 191pp., 価格: 950 円 (税込 1,045 円)
日本と世界のコガネムシ上科の昆虫を、カブトムシ、クワガタムシを中心に、クロツヤムシ、糞を食べるなかま、葉を食べるなかま、テナガコガネ、ハナムグリ、の 7 つのカテゴリーに分け、約 330 種を紹介しています。巻末には和名のほか、学名さくいんも掲載しました。

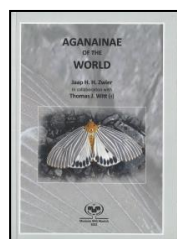
図説 日本の洞窟



狩野彰宏・柏木健司(編著), 2025.

B5, 216pp., 定価 4,800 円 (税込 5,280 円)
日本列島各地に分布する多様な洞窟を紹介しています。洞窟からは今でも新種の動植物が発見され、横穴・竪穴の構造からは地盤変動や地殻変動を復元することができます。また、古代人の遺物があれば、考古学や人類学に役立ちます。本書では、ケビン (洞窟探査) も含めて、多様なトピックをオールカラーでわかりやすく解説しています。

Aganainae of the World (Lepidoptera, Erebididae) Documentation and a Guide to their Identification



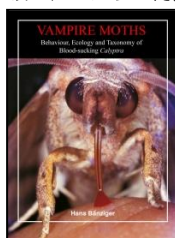
世界のヒトリモドキ亜科

Zwier, J.H.H., 2022.

A4, 432pp. うちラー 55pls., ハードカバー.
価格: 40,000 円 (税込 44,000 円)
ドイツの Museum Witt からシリーズ第 10 巻目。5 新種を含む 120 種以上の解説、分布、備考、遺伝データ、交尾器などが掲載されている。ヒトリモドキを概観するにはこれまでなかったので、有用である。

Vampire Moths: Behaviour, Ecology and Taxonomy of Blood-sucking Calyptra

吸血性エグリバ属(ヤガ科)の行動・生態・分類

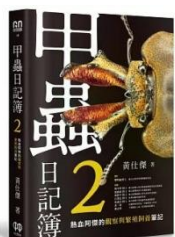


Banziger, H., 2021.

192mm x 260mm, 232pp.(フルカラー), ハードカバー. 価格: 18,000 円 (税込 19,800 円)
「吸血鬼蛾」という衝撃的なタイトルとなっています。著者の Hans Banziger は、1970 年代からインドシナ半島におけるエグリバ属 Calyptra の一部が哺乳類や鳥類などの涙や血液を吸うことを明らかにし、生態写真と共にその行動や特殊な口器の構造、分類

学的研究を多数報告してきました。本書はその集大成に位置付けられます。ゾウやサイなどの野生動物や牛や豚などの家畜、時には人間も犠牲になるという。特に動物の眼の周囲に集団で吸涙する姿や、著者自身の目や腕などから吸涙・吸血している画像は目をそむけなくなる画像もあります。これらは吸血性昆虫の中でも最大級であることなどから、ヤガ科の中でも高度な適応を遂げたグループと考えられています。

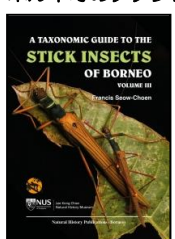
甲蟲日記簿 2 熱血阿傑の観察と繁殖飼養筆記



黄仕傑, 2020.

A5, 159pp., 価格: 2,900 円 (税込 3,190 円)
著者は長年の生態観察家・写真家で本書の 70% は、著者の個人的な経験から選ばれた人気のある甲虫について飼育や繁殖のコツ、あるいは自然観察が中心となっています。残りの 3 割は、カブトムシに関連する新種や希少種について、科学的知識をできるだけ取り入れ、飼育の過程でどのように答えを見つけたかを紹

介しています。巻末の灯火採集方法や台湾国際昆虫博覧会の記事は面白いです。

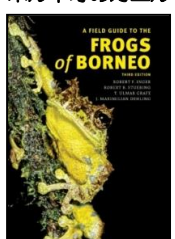
A Taxonomic Guide to the Stick Insects of Borneo Volume 3
ボルネオのナナフシ類分類ガイド 第 3 巻

Francis Seow-Choen, 2019.

260x190mm, 261pp., フルカラー, ハードカバー, テキスト: 英語 価格: 7,500 円 (税込 8,250 円)

ボルネオで記録のあるナナフシ類を収録した図鑑です。第 3 巻では、現在認められているボルネオ島の 369 種または亜種が掲載されており、14 種または亜種が新たに追加されています。12 種の新しいシノニム、11

種の新しいコンビネーション、11 種のレクトタイプ指定、1 種のネオタイプ指定などが掲載されています。追加種の記載があっても、ボルネオ島の種の数は減少しています。これは、この研究の過程でかなりの数のシノニムが判明したためです。今回の調査で誤同定され、ボルネオ原産ではないことが判明した種もあり、これらの分類群はボルネオ島のリストから削除されています。

A Field Guide to the Frogs of Borneo 3rd Edition
ボルネオのカエル

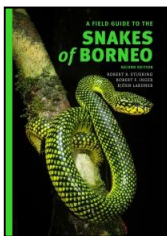
Inger, R.F., Stuebing, R.B., Grafe, U., Dehling, M., 2017.

165mm x 220mm, 236pp., フルカラー, ハードカバー, テキスト: 英語. 価格: 5,600 円 (税込 6,160 円)

2016 年 3 月現在、ボルネオ島には 183 種のカエルが生息していることが確認されています。毎年新種が発見されているため、正確な数は不明であるといえます。50 年前、

ボルネオのカエルに関する最初の包括的なレビューが出版されたとき、リストには 92 種しかいなかったため、その間には数は倍増しています。このフィールドガイドの前版以降、33 種が新たに記載されました。また 2010 年以降、約 20 種の未記載種がボルネオのカエルリストに追加されています。新種の数は増え続けており、さらにどれだけの種が発見されているかはわからないという（最終的に総種数が 200 種を超えても不思議ではないという）。本書は、現在確認されている全種について詳細な解説が掲載されています。各属の種に対する新しいキー、簡潔な形態学的解説、生態学的解説、高解像度の画像などが追加され、野外での同定がより容易になっています。

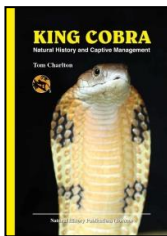
A Field Guide to the Snakes of Borneo 2nd Edition ボルネオのヘビ



Inger, R.F., Stuebing, R.B., Lardner, B., 2014.
165mm x220mm, 310pp., フルカラー, ハードカバー, テキスト: 英語. 価格: 8,400 円 (税込 9,240 円)

ボルネオは長い間、野生動物の宝庫として知られてきました。現在、島には 160 種近くのヘビが生息していることが知られており、生息地は山から海まで多岐にわたります。この第 2 版では、ウミヘビも含め多くの新しいカラープレートが追加され、そのうちの数種類は数十年間見られなかったあまり知られていない種です。ほぼすべての種について詳細な解説があり、その中には同定が難しいことで有名なヨシヘビ（カラマリア属）も含まれています。また、特にカリマンタンからの記録をできるだけ多く掲載するよう努力したようです。

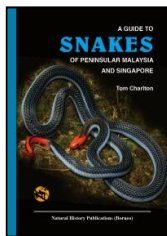
King Cobra Natural History and Captive Management キングコブラ 自然史と飼育管理



Tom Charlton, 2018.
165mm x220mm, 151pp., 146pls フルカラー, ハードカバー, テキスト: 英語. 価格: 5,600 円 (税込 6,160 円)

キングコブラは世界最長の毒ヘビで、熱帯・亜熱帯アジアの大部分に広く分布しています。Ophiophagus (他のヘビを捕食するという意味) という一般名は、その共食いの傾向を示している。キングコブラの体長は非常に長く、威圧的な威嚇行動と神経毒性の強い毒を持つことから、世界で最も恐ろしいヘビのひとつと広く考えられています。キングコブラが 1836 年に初めて記載されてから 180 年以上経った今でも、その秘密の多くは明らかにされていない。重要なのは、野生の個体数をモニタリングしたところ、多くの地域で数が急速に減少している兆候が見られたことで、分布全域でキングコブラを保全するためには、継続的な保護努力が必要であるという。本書では、多くの写真家による素晴らしい写真をふんだんに使い、分布、食性、繁殖、毒など、キングコブラの生態のあらゆる側面を詳しく調べ、人間との関係や保護についても解説している。著者はまた、キングコブラの飼育管理について、この種の飼育と繁殖に長年携わってきた経験を生かした内容を紹介しています。

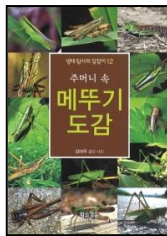
A Guide to the Snakes of Peninsular Malaysia and Singapore マレー半島とシンガポールのヘビ



Tom Charlton, 2019.
165mm x220mm, 300pp., フルカラー, ハードカバー, テキスト: 英語. 価格: 6,800 円 (税込 7,480 円)

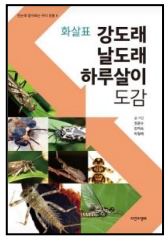
世界の主要な生物多様性ホットスポットのひとつとされて久しいマレー半島は、動植物の豊かさで有名だが、ヘビもまたここで見られる多様な野生生物のひとつです。160 種以上が、高温多湿の低地の熱帯雨林から山の頂上、町や都市の周辺、さらには海の中までみられるといわれています。本書はマレー半島とシンガポールのヘビ相を紹介し、この 2 カ国に生息するヘビの歴史と生態、陸生、淡水、汽水域に生息するヘビの全種と、海洋に生息するウミヘビとウミヘビの一部の種について、種解説が掲載されています。それぞれの解説には、形態や色彩の簡潔な説明、生態や分布の概要、そして多くの才能ある野生動物写真家による詳細な写真が含まれています。

韓国の直翅系昆虫ハンドブック



Kim, Tae-woo, 2019.
113×153 mm, 215pp., テキスト: 韓国語, 価格: 1,200 円 (税込 1,320 円)
韓国で多く観察される直翅目昆虫 150 種、カマキリ目 7 種、ガロアムシ目 1 種、ゴキブリ目 7 種、シロアリ目 1 種、ナナフシ目 5 種、ハサミムシ目 13 種の生態写真を中心に掲載されています (学名の掲載はございません)。

韓国のカワゲラ・トビケラ・カゲロウ図鑑



Jeong, Gwang-su, Kang, Mi-sook & Park, Hyung-rye, 2023.
128x188mm, 207pp. テキスト: 韓国語 (学名併記), 価格: 2,400 円 (税込 2,640 円)
韓国に生息するカワゲラ目 25 種、トビケラ目 35 種、カゲロウ目 26 種の幼虫と成虫画像と解説が掲載されています。

<新着 月刊誌・季刊誌>

月刊むし (むし社)

2025 年 8 月号 (654 号) B5, 64pp. 1,430 円 (税込・送料別)



カミキリ特集号・25

〔表紙〕ネキダリスの世界 阪本優介, 今月のむし オニホソコバネカミキリ 小関 恵, 北米のネキダリス 新里達也, ノコギリヒメコバネカミキリに関する追加知見 河合秀樹・古崎敦也・鎌苅哲二, 屋久島にハイイロホソキリンゴカミキリを求めて 足立一夫, 宮古諸島のカミキリムシ 藤田 宏, 日本産ヒメシラオビカミキリ種群について—1 亜種の昇格— 平山洋人, 虫をめぐる小さな読書 その 3 『風の中のマリア』 百田尚樹 高橋敦一, KIROKU・HOKOKU (16 編) カラカネハナカミキリの色彩変異個体を採集 光永 進・黒沢秀基, トウキョウトラカミキリの黒化型を採集 谷川栄一, ベニモンアゲハの美麗な異常型 上村清隆・有田 斉, 台湾・霧社のラベルが付いたイシガキゴマフカミキリの標本 藤田 宏, 神奈川県伊勢原市でイシガケチョウの成虫を採集 佐藤翔輝, 神奈川県横浜浜市緑区でイシガケチョウを撮影 荒井明子, 神奈川県秦野市でイシガケチョウを採集 岩田勝世, 神奈川県北部におけるイシガケチョウの春の記録 嶋崎えつ子・中町華都雄, 奄美群島と路島におけるアマミトゲウスバカミキリの記録 小松拓実, 対馬から

タマガムシの記録 境 良朗, 対馬におけるムネアカハラビロカマキリの初記録 錦織龍生, 神奈川県鎌倉市におけるアライグマによるカブトムシの捕食事例 柳 丈陽, 茨城県笠間市でタイワンオオテントウダマシを採集 大宮 悠・藤井才輝, 滋賀県におけるクロホシタマシモソウムシの採集例 今田舜介, 山梨県上野原市と大月市でケブカマルクビカミキリを採集 石塚達也, 東京都町田市にてエソナガヒゲカミキリを採集 秋田 勇, 編集後記

昆虫と自然 (ニューサイエンス社)

2025 年 8 月号 (Vol.60 No.9) B5, 40pp, 1,682 円 (税込 1,850 円)



特集・セミオケミカルを介したコミュニケーション

Communication through semiochemicals in insects

総論：昆虫のセミオケミカルを介したコミュニケーション 中牟田 潔, 地下性シロアリのワーカー集合フェロモン 三高 雄希, カイガラムシ類の性的二型とフェロモン 田端 純, HIPVs を介した捕食性カメムシの

餌探索 野下 浩二, アリとアブラムシの共生関係における化学コミュニケーション 林 正幸, 連載 農業に関わる昆虫 (4) 海外からやってくる害虫たち (3) ~人知れずやってくる昆虫たち~ 野村 昌史, 報文 よくよく見るとペアを組んでいるのか? ウスバキトンボの群れ飛翔 田口 正男, INSECT REPORTS 昆虫のライフステージ転換を制御する分子メカニズム 石丸 善康・川本 晃平・三戸太郎

BE-KUWA (むし社)

No.96 (2025 年 7 月発行) A4, 128pp, 1,540 円 (税込)



アンタエウスオオクワガタ大特集!!、アンタエウスオオクワガタグループ大図鑑 土屋 利行, 超巨大個体を求めて 25 年 アンタエウスオオクワガタの飼育方法 野澤 良平, レコードホルダーに学ぶ カミジョウオオクワガタ飼育法 深町 聡, 日本産クワガタムシ採集紀行 人生を楽しく狂わせたヒメオオクワガタ 六地蔵, HirokA のへら 2 漫遊記 河野 博史, 山梨オオクワ採集 台木の上にも 3 年! 長坂 敬司, 80mm プリナーから学ぶ ゼロからはじめる巨大オオクワガタの育て方 world ace3, ビークワ・KLB

コラボ企画 第2弾!! 明日のレコードホルダーはキミだ! 久留米 vs 能勢バトル 2024 KLB, たえたそちゃんねる (裏) たえたそ, 21 世紀版 クワガタムシ飼育のスーパーテクニック 小島 啓史, 虫のためなら、どこへでも! 野澤 巨伸, ホペイの世界 山本 良樹, 編集部よりお知らせ, 読者と執筆者と編集部をつなぐ 井戸端会議室, び〜くわ横丁, クワガタ用語の基礎知識, 編集後記

季刊ゆずりは (NRC 出版)

No.106 (2025 年 7 月 1 日) A4, 64pp, 2,000 円 (税込)



一期一会の蝶たち第 5 回夏北海道編 荻野 秀一, モンゴリ Terelj 自然公園の蝶 2024 年 6 月 30 日~7 月 7 日 橋爪善博, 鈴鹿山系のウスバシロチョウ 小野克己, 沖縄産蝶類の研究 XVII-リュウキュウウラナミジャノメの飼育における冬期の生態- 浜祥明, 「風の島」八丈でエサキ型アオスジアゲハを追う 遅沢恭二, アマゾン・アグリアス聖地巡礼の旅 2023AUG.(1) 近藤高明, 6 月の利尻・

礼文島(国内北限島嶼)調査行 有田育, ヤエヤマウラナミジャノメ Yphima yayeyamana の吸蜜植物 浜祥明, 【連載・シリーズ】歩けば蝶彩マ7 フィジー・ピチレブ島ブラとイノビナータムラサキ 楠本優作, 止タ呂美哀歌 106 蝴蝶の旅路 (14) 夏秋優, 撮影

記 61 ベニモンカラスシジミの紅を求めて 新井雅夫, 【ゆずりは・メモ】北海道産ベニヒカゲの異常型 2 頭の記録 山口修, 屋久島でのリュウキュウアサギマダラの記録 瀬戸昭, 【ゆずりは・ギャラリー】97 「天使? が降りて来た」 ツバメシジミとユスリカ的一种 中橋利和, 【BOOKS (新刊紹介)】石井実ほか編著『環境動物昆虫学のすゝめー生物多様性保全の科学-』渡辺康之, 永盛俊行著『北海道の蝶の生活史図鑑蝶好きの 12 か月』渡辺康之

<新着 学会誌・同好会誌>



アルボ (鹿児島昆虫同好会 連絡誌)

No. 194 (2025 年 3 月発行) B5, 16pp, 100 円 (税込・送料別)

2024 年の鹿児島大会記, 有望な昆虫少年と巡り合う 今村久雄, 種子島の虫の風物詩 尾形之善, 会員動静

No. 195 (2025 年 6 月発行) B5, 12pp, 100 円 (税込・送料別)

真弓さん!! ... 何も言えないよ! 福田晴夫, 高橋真弓さんとの思い出 大坪修一, 高橋真弓先生お別れの会に参加して 二町一成, 平原洋司君へ 水主隆志, 「国産甲虫 (クワガタ, カブト)」と子どもたち 田中洋, 書評 (福田晴夫), 環境動物昆虫学のすゝめ -生物多様性保全の科学-, 日本産アゲハチョウ属 Papilio 幼生期のすべて, 会員動静

大昆 Crude (大阪昆虫同好会)

No.68 (2024 年 3 月発行) B5, 58pp, 3,000 円 (税込・送料別)



東部生駒山系の昆虫 塩崎明生, 大阪市の市街地でカラスアゲハの幼虫を確認 浜祥明, 兵庫県猪名川町柝原のゴイシシジミ 浜祥明, オナガアゲハ事始めその 5 金平修一, 奈良県宇陀市・奈良県都祁吐山町付近の昆虫観察記録 松田真平, 暖冬の箕面市での蝶の記録 加藤琢磨, 石垣島でのトンボ科ホソアカトンボの記録 高須賀信悟・浜祥明・熊谷隆, ベニトンボの採集例

東浩司・山本雄二, 表紙写真説明リュウブ伐採木上で交尾しているムネマダラトラカミキリ 大塚良政, 「生駒山地の昆虫」での『蝶の市町別リスト』詳細情報紹介 本誌編集部, 生駒山系暗峠産シータテハの採集日について 塩崎明生, 「生駒山地の昆虫」の追加と訂正 東浩司, 兵庫県川西市水明台でノコギリクワガタを採集 有田育, 六甲山系とその周辺地域で採集されたカミキリムシ数種の記録 東浩司, 大阪府豊能町でセリチョウ科クロセリを撮影 六峰義弘, 大阪府箕面市でクロセリを観察 森地重博, 高知県馬路温泉にてクロセリを確認 小野克己, コミスジの軽い黒化個体を採集 小野克己, 兵庫県尼崎市塚口における 12 月のコガタスズメバチの記録 夏秋優, 八尾市でシタベニハゴロモを記録 宇山喜士・高須賀信悟・東浩司, 豊能町鴻巣山山麓のシジミチョウ科ゴイシシジミの観察記録 六峰義弘, ジャノメチョウ亜科 4 種の吸水行動ほカーヒメウラナミジャノメ・ヒカゲチョウ・クロヒカゲ・ヒメキマダラヒカゲ 六峰義弘, 蝶 5 種の吸汁行動の観察記録一その 2 六峰義弘, 【追悼】森岡茂さんは「オサムシ界の定説」を覆した発見者 神吉正雄, <追悼>大昆一の紳士 森岡茂 様 東浩司, 森岡茂さんを偲んで 堀江義宏, 大昆 Crude memo, ウラナミジャノメの過少紋 山田秀恵, 奈良県御所市でのベニシジミの早い記録 植村昭則, 奈良県平群郡信

貴山でミスジチョウ *Neptis philyra* を採集 五十嵐祐之, 生駒山でウラギンヒョウモン *Fabriciana adippe* を採集 竹内元, 大阪府能勢町天王で採集したカミキリムシ 2 種 大塚良政

No.69 (2025 年 2 月発行)B5, 58pp, 3,000 円 (税込・送料別)



浜祥明氏・福本三千円氏採集の石垣島産昆虫リスト 塩崎明生, 「東部生駒山系の昆虫」の訂正 塩崎明生, 東大阪市で採集したカミキリムシ 3 種類の記録 山本琉夏, ツマグロキチョウの夏型を神戸市内で採集 東浩司, 秋遅くから冬期にかけてのゴイシシジミの幼生期 浜祥明, ゴイシシジミ *Taraka hamada* の寄生蜂について 浜祥明, 金剛山でアサギマダラの矮小型を採集 金

平修一, 兵庫県川西市でホシミスジの遅い記録 有田斉, 2024 年箕面市のツマグロキチョウの記録 加藤琢磨, 神戸市で確認した記録の少ないシャクガ 2 種の観察例 平林重政, 故・竹中一夫氏が採集された小笠原諸島父島の蛾 佐々木昇, 六甲山系でアカギカメムシの集団越冬を確認 東浩司・石川延寛・井上弘貴・奥田健人, 大阪府・兵庫県・京都府で確認された昆虫類(スギタニマダガ・キマダラコヤガ・アメリカピンクノメイガ・シナチクノメイガ・コブノメイガ・ハイマダラノメイガ・キンイチモンジセセリ・クロツバメシジミ・アラメエンマムシ・セアカクロバナネキノコバエ・アオヒメアブ・ヒラタガリカメムシ・チュウゴクアミガサハゴロモ) 宇野宏樹, 「大阪府能勢町天王で採集したカミキリムシ 2 種」の訂正 大塚良政, 兵庫県尼崎市南塚口町の 2024 年秋のクロマダラソテツシジミの記録 夏秋優, 大阪府豊能町鴻巣山山麓のヒメウラナミシジミ *Ypthima argus*—その 1—斑紋の季節変異、化性— 六峰義弘, 表紙写真説明吸蜜するミヤマセセリ 夏秋優, 大阪府豊能町鴻巣山山麓のヒメウラナミシジミ *Ypthima argus*—その 2—眼状紋変異— 六峰義弘, 宝塚市の住宅街でのミヤマカラスアゲハの記録 畑薫, 乗鞍岳の 2,770m 地点でキバリタテハを目撃 森地重博, 冬期および早春の箕面市のウラナミシジミの記録 加藤琢磨, モンシロチョウ *Pieris rapae* の早い記録 浜祥明, 蝶 3 種の吸水行動—キアゲハ・トラフシジミ・ウラナミシジミ— 六峰義弘, ハネビロトンボの観察例 東浩司, 豊中市でワモンゴキブリを記録 裏野健真・東浩司, 兵庫県におけるケバリハゴロモ・アリガタツユムシの採集例 平林重政, memo 大昆 *Crude*, キタテハの軽い斑紋異常 手塚浩・塚越章雄, 京都府城陽市でリュウキュウムラサキを採集 中島浩樹, 遅くに蛹化したアゲハ *Papilio xuthus* 浜祥明, 大阪府茨木市のゴイシシジミ *Taraka hamada* 定着を確認 六峰義弘, 野生のミドリヒョウモンの羽化を観察 小野克巳

佳香蝶 (名古屋昆虫同好会)

Vol.77 No.302 (2025 年 6 月発行)16pp, 1,000 円 (税込・送料別)



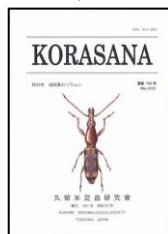
五島列島福江島の蛾類(6) 宮野昭彦, スラウエシ島で採集したボクトウガ 5 種 宮野昭彦, 愛知県のシリホリハネカクシ亜科・キノコハネカクシ亜科における数種の記録 河路掛吾, クロフシロノメイガとウスチャットガの愛知県の記録 間野隆裕, ヤマトシジミの前翅裏斑紋異常例 横地鋭典, 愛知県岡崎市でコガタセマルガムシを採集 萩原涼太, カタモンセマルナガクチキを愛

知県県ノ木で採集 河路掛吾, 愛知県のヒメトゲムシ科の訂正について 戸田尚希

KORASANA (久留米昆虫研究会)

105 号 (特集号・福岡県のゾウムシ) (2025 年 5 月発行)

B5, 162pp, 3,500 円 (税込・送料別)
表紙解説, ミツギリゾウムシ 城戸克弥, 福岡県のゾウムシ 城戸克弥



ひらくら (三重昆虫談話会)

Vol.69 No.1 (484 号) (2025 年 2 月発行)B5, 24pp, 750 円 (税込・送料別)



河北さんを偲んで 生川展行

Vol.69 No.2 (485 号) (2025 年 5 月発行)B5, 28pp, 750 円 (税込・送料別)



2023 年,三重県のクロマダラソテツシジミ 河本実・中西元男, アサマイチモンジ樹液吸汁の観察例 岡村純・乙部宏, 三重県における外来ノメイガ 堤祥雄・間野隆裕・稲垣征吾, 志摩市磯部町でベニイトトンボを確認 松沢孝晋, アリツカコオロギとトビイロケアリの 1 記録 坂部元宏・蒔田実造, 多気町の水生昆虫の記録若干 乙部宏, ウスグモスズとタイワンタケクマバチを 2023 年も確認 坂部元宏, キオビホオナガスズメバチを鈴鹿岳で採集 上村聡, 津市のキンモウアナバチ 乙部宏, 紀北町鈴島におけるミンミンゼミとツクツクボウシの確認記録 佐野明, 亀山市筆捨山でスプレーイングで得た甲虫若干 生川展行, 四日市市東部でのススカオサムシの採集記録 田中晃詞, 熊野川のカワチマルクビゴミムシ 乙部宏, 大台町のフタツメゴミムシ 乙部宏, 鈴鹿市でアラメエンマムシを採集 生川展行, 伊賀市でコウベツブゲンゴロウを採集 津田正太郎, 津市のオオヒメゲンゴロウ 乙部宏, 度会町のクビナガムシとミヤマハリハナカミキリ 乙部宏, 三重県初記録のミナミケモンマルトゲムシ *Microchaetes* sp.を四日市市で採集 稲垣政志, 三重県のオオマダボタルの記録若干 乙部宏, 獅子ヶ岳のハリウスハナカミキリ 乙部宏, 木曽岬町の外来種クビアカツヤカミキリ 乙部宏, 津市のヨツモンカメノコハムシ 乙部宏, 尼ヶ岳でフタオビヒビオオキノコを採集 生川展行, 名張市のオオオビハナノミ 乙部宏, オオチャイロハナムグリを三津河落山で採集 上村聡, 伊賀市におけるヒラズゲンセイの確認記録 佐野明, 津市河辺町でハラグロオオテントウを拾得 佐野明, ハマベソウムシを四日市市の海岸で採集 古川清, 2024 年三重昆虫談話会第 1 回採集会の記録 河本実, 2024 年三重昆虫談話会第 2 回採集会の記録 河本実



ももてふ（三重蝶友会）

No.370（2025. 6.20 発行）B5, 16pp. 300 円（税込・送料別）

ミカドアゲハ及び数種の蝶の目撃（三重県） 嶋田春幸, 2025 年アオスジアゲハの初見・松阪市（三重県） 玉置高志, 3 枚翅のテンシアンウスバシロチョウを採集（キルギス） 宮本正行, 大洞山のウラキシジミの変異のまとめ・津市（三重県） 多賀敏正, 表面後翅後角部に赤斑紋が出現したナガサキアゲハ♂・大宜味村（沖縄県） 多賀敏正, 伊賀市のギフチョウ（三重県） 多賀敏正・玉置高志, ウラナミジャノメの過剰紋の記録・浜松市（静岡県） 藤枝俊英, ナミアゲハの異常型・熊野市（三重県） 藤枝俊英, モンシロチョウの吸水集団・松阪市（三重県） 多賀敏正, ナガサキアゲハ♀の翅表基部赤斑について 多賀敏正, ももてふ 358 号・369 号の訂正 事務局

No.371（2025. 7.20 発行）B5, 16pp. 300 円（税込・送料別）

「ももてふ」総目次・その 10 No.332-371 三重蝶友会

No.372 【最終号】（2025. 7.20 発行）B5, 16pp. 300 円（税込・送料別）

「ももてふ」No.332-372 の報告者別総目次 三重蝶友会, お知らせ（8） 三重蝶友会 4087

昆虫文献 六本脚

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>

EMAIL: roppon-ashi@kawamo.co.jp

〒102-0075

東京都千代田区三番町 24-3 三番町 MY ビル 3 階

TEL : 03-6825-1164 FAX : 03-5213-1600

定休日 : 土、日、祝日 営業時間 : 13:00~17:30

●当社の口座は以下の通りです。

ゆうちょ銀行口座 : 記号 001202 番号 18588

郵便振替口座 : 00120-2-18588

銀行口座 : 三菱 UFJ 銀行 室町（ムロマチ）支店

普通預金 3962446

※口座名義は「昆虫文献 六本脚」

（コンチュウブンケン ロッポンアシ）

